

## ～ 令和3年度愛媛産業安全衛生大会（Web開催）に寄せて ～

令和3年度愛媛産業安全衛生大会が、コロナ禍をものともせず、ここにウェブ開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

昨年、本年と新型コロナウイルスの影響により、社会・経済活動に様々な制約が課せられることとなりましたが、そうした中においては、労働者の安全と健康の確保は、なおさら喫緊の課題であり、こうした機会を設けて貴協議会が呼びかけておられることを大変心強く感じているところでございます。

また、安全衛生に関して、永年にわたるご活躍により、栄えある表彰を受けられた皆様方には、その多大なるご功績をおたたえしますとともに、今後、なお一層のご尽力を賜りますよう、ご期待申し上げる次第であります。

さて、少子高齢化、若年者の県外への流出など、労働力人口の減少が進む中で、県内の7月の有効求人倍率は、1.32倍となっており、中予と南予では前年同月を上回るなど、企業においては、人手不足が深刻な経営課題となっている状況ですが、一方で、働き方改革関連法が順次施行されてきており、残業時間の上限を規制されながら納期に間に合わせなければならないといった業務の遂行が求められております。

また、高齢者の雇用確保に関する措置も強化されてきており、今後、就労現場における高齢者比率の増加が想定される場所ですが、昨年の県内の労働災害による休業4日以上の死傷割合を年齢階層別に見ると、60歳以上が29.1パーセント、50歳以上59歳以下が24.0パーセントとなっており、死傷者数の半数以上が50歳以上の労働者となっています。高齢者は、身体機能が低下することなどにより若年層に比べ労働災害の発生率が高くなっていることから、こうした特性を考慮した職場環境の整備も必要となってきます。

さらには、コロナ禍により制約された生活に伴うストレスからか、流通業務や販売業務などに従事する方々に対するハラスメントも問題となっており、適切な対応を採らなければ、これも労災へとつながりかねません。

私ども愛媛県経営者協会といたしましても、働き方改革や高齢者雇用、カスタマーハラ

スメントなどに関するセミナーを開催するほか、様々な情報提供や意識啓発などに努めているところでありますが、労働災害の防止において何よりも重要なことは、協議会の皆様の意識向上と継続的な取り組みであると考えております。この大会の「つなげよう未来へ 続けよう安全衛生活動」のスローガンにあるように、明るい未来に向けて、力強く取り組んでいただきますようご期待申し上げます。

本年は、コロナ禍の影響により、残念ながら多くの関係者が一堂に会しての大会を開催することはできませんでしたが、ウェブ開催による情報発信を通じて、皆様が労働災害の防止に向けてあらためて認識を深めることは、誠に有意義であり、敬意を表する次第でございます。どうか、この大会を契機として、今後とも、労働者の健康管理や職場環境の改善に一層努めていただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、協議会の益々のご発展と皆様方のご活躍をお祈り申し上げますとともに、皆様方の取り組みが明るい未来につながることをご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和3年10月5日

愛媛県経営者協会

会 長 田中 和彦